

ぼうさい通信 Vol.63



毎月16日は「防災教育啓発の日」

令和5年2月16日発行
熊本県立湧心館高等学校

今月のテーマ 火災時の避難について

去る12月5日(月)に湧心館高校内で地震からの火災を想定した三課程合同避難訓練が行われました。その際、当日参加いただいた消防署や警察署の方から、避難訓練などについての指導、助言を頂く機会があり、偶然にも、その中で、打越校長先生から火災についての質問が出たことで、話題となったことをここで一部紹介します。

- 【打越校長】 「昨今の火災は多いのでしょうか。」
【消防署長】 「例年に比べると多い印象があります。特に一般家庭では、コンロや電器、コンセント関係の火災が多く、昨年に比べ20件ほど増加しています。昨年度の170件から今年度今日(12月5日)時点で200件弱の火災が発生している状況です。」

災害というと、時期に関係ない火山の噴火や地震、津波から季節的な大雨や台風による暴風雨、それに伴う河川氾濫、洪水、地滑り、大雪による凍結や、雪崩、など、自然の影響を受けた災害をイメージされる方も多いと思います。

そして、実際に災害が起きる場面は、学校だけとは限らず、プライベートな時間や場所で発災し、特に、自分で考えないといけないケースなのかもしれません。そういう点を含め、今回は、大規模自然災害に直接該当することではありませんが、冬場の時期に起こりやすい身近な災害ということで、火災について考えていこうと思います。

【そもそも災害とは?・・・】 ●主立ったものとして自然によるものが一般的です。

「災害対策基本法」第二条では、災害を以下のように定義しています。

「災害、暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火その他の異常な自然現象または大規模な火事もしくは爆発その他その及ぼす被害の程度においてこれらに類する政令で定める原因により生ずる被害をいう。」

このことから、上のように災害には自然災害だけでなく、人為的な災害も含まれており、想定するべき災害にはさまざまな種類があります。

【災害の種類とは?・・・】 ●大きくは以下の3つの災害があります。

- ◎自然災害・・・地震や台風など自然現象によって生じる災害
- ◎人為災害・・・交通事故など文字通り人為的な要因によって生じる災害
 - 【都市災害】火災や大気汚染など
 - 【交通事故】車や飛行機などの事故
 - 【労働災害(産業災害)】勤務中の従業員の負傷や、病気にかかったりする災害
 - 【管理災害】管理の不備や操作ミスなど
 - 【環境災害】水質汚濁など環境破壊によって引き起こされる災害
- ◎特殊災害・・・化学物質の漏洩など自然現象以外が要因となって発生する災害
 - 【Chemical(化学)】化学兵器や有害物質の漏洩などの災害
 - 【Biological(生物)】病原体や生物兵器による災害
 - 【Radiological(放射性物質)】放射性物質の漏洩や原子力事故など
 - 【Nuclear(核)】核兵器を使ったテロ
 - 【Explosive(爆発)】テロや事故による爆発

※火災は人為災害に該当し、被害の大きさにもよりますが災害と捉えられます。

【火事と火災の違い?・・・】 ●一般的には、火災の中に火事が含まれるようです。

体感で感じ、家屋に損害が生じない「地震」と生じる「震災」の違いと同じ様な考えで、家屋に大きな損害が生じないものを「火事(または小火(ぼや))」、生じるものを「火災(大火(たいか))」(実際に損害が生じないような火事はまずありませんが)

と考えると良いのかもしれませんが。

【1年前の出来事を覚えてますか？・・・】

今年度の三課程合同避難訓練が行われた約1年前の2021年12月17日朝、クリニックの患者による放火で大阪・北新地の心療内科クリニック内で27人が死亡する悲惨な火災が発生しました。

設備が整った場所でさえも、発火原因によって、大きな災害となり、日常の避難のあり方が求められるものかもしれません。

【火事は冬場に多たって本当？・・・】

横のグラフからを見ると、冬場もさることながら、春先の火災が非常に多いと言えます。これは冬も春も空気が乾燥しやすく、乾燥した風で引火が非常に早くなるからです。一方で、雨が多い梅雨時期から台風や秋雨前線の秋口は湿度の高さから引火に時間が掛かり、火災が少なくなっています。

【火災発見時の対応と避難】(状況を踏まえ様々な場面をイメージしておこう)

◎火災発見時の対応

- ・火事を知らせる。①大声で「火事だ！」と周囲に知らせる。
②火災報知器のボタンを押す。(設置されている場合)
- ・初期消火を実施する。
- ・「119番通報して!」「火は消せない、にげろ!」等重要な指示は的確に伝える。
- ・天井に火が達したら消火は困難、避難を最優先させる。

◎煙の特性と危険性

- ・煙の広がる速さは水平方向で0.5～1m毎秒、垂直方向では3～5m毎秒、垂直方向の移動は人より速い。
- ・煙には一酸化炭素など有毒ガスが多数含まれ、濃い煙を吸い込めば意識を失い、命に危険がおよぶ場合も。
- ・煙は高温の気体、吸い込めば気管や肺がやけどをして呼吸困難を招く。
- ・火災の進展に伴い火元から遠ざかった煙は冷やされ下降、白っぽい煙は黒色に変化、厚みも増加し、人の視界を一気に奪う。

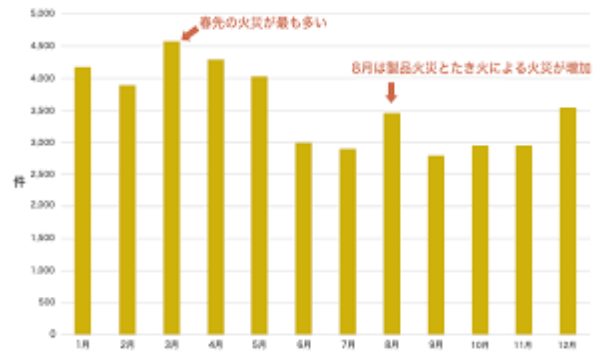
◎家庭での住宅火災の際の避難【一例】※商業施設等のケースもイメージしてみよう。

○備え

- ・日頃から火災発生時の避難方法を家族で検討する。
- ・特に、窓やベランダからの避難方法を検討し、準備する。(ロープ、梯子等)
- ・高齢者等の自力避難が難しい方は1階に居住する。
- ・火災を早く知るために、住宅用火災警報器を設置する。

○避難方法

- ・服装や持ち物にこだわらない。
- ・階段に煙がなければ、直ちに階段で地上階に避難する。
- ・階段が煙で使用不可能な場合、階段に通ずる扉は閉め、窓やベランダ等外気が触れる場所へ移動する。
- ・事前準備が無く、危険が差し迫った場合は次の方法で避難する。
 - ①窓、ベランダから屋根伝いに燃えていない棟や隣家を経由して避難する。
 - ②カーテン、シーツをつなぎ合わせてロープの代用にする。
 - ③雨どい(縦どい)や植木を伝って避難する。
 - ④2階の場合、窓、ベランダ、軒にぶら下がり、落差をできるだけ小さくして飛び降りる。(布団を地上に落とし、クッション代わりにする。)



月別火災件数 (2010～2019年の10年平均)
出典：総務省消防庁「消防統計(火災統計)」

過去のぼうさい通信を見ることが出来ます ◎ぼうさい通信(毎月16日発行)

本校HPにアクセスしてみよう。 <https://sh.higo.ed.jp/yusinkan/>

くまもとマイタイムライン(デジタル版マイタイムライン)は、

<https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp/timeline/#/>で作成可能です。